



(160~200g)までの果
実生産が望ましいことが分か
りました。
センター「革新的技術開発・緊
急展開事業(うち地域戦略プロ
ジェクト)」の支援を受けて実
施したものです。

また、6月30日時点の横径と
収穫時の横径の相関係数は0・
(果樹・茶研究部門
山下次郎)

中晩生かんきつ「津之望」
(清見×アンコール)は、露地
栽培でも果皮が滑らかで年内に
減酸し浮き皮がほとんどなく、
機能性成分であるβクリプトキ
サンチン高含有な良食味品種で
あり普及が期待されています
が、果実肥大特性や階級ごとの
果実品質などが明確でありませ
んでした。

そこで、当センター内および
現地調査結果から、高糖度果実
生産のための目標果実の大き
さ、および時期別の肥大目安値
を検討しました。

3カ年間の調査結果から、果
実横径が大きくなると糖度が低
くなる傾向があり、1月収穫時
点で糖度13を確保するために
は、温州ミカン規格で2L級

かんきつ「津之望」 高糖度果実生産へ 2L級までが理想

かんきつ「津之望」の時期別横径・目安値 (mm)

目標階級	6月30日	7月20日	8月10日	8月30日	9月20日	10月10日	10月30日	11月20日
M	23~24	31~33	37~40	45~48	50~54	54~59	58~63	60~65
L	25~27	34~36	41~44	49~52	55~58	60~64	64~68	66~71
2L	28~29	37~39	45~48	53~57	59~64	65~70	69~75	72~78
3L	30~	40~	49~	58~	65~	71~	76~	79~
相関係数 ²	0.83	0.81	0.90	0.91	0.94	0.95	0.97	0.97

²各時期と収穫時の横径

83と高く、以降の相関係数も高
い(表)ことから、目安値を参
考に粗摘果、仕上げ摘果、樹上
選果を行うことが効果的です。
本研究は、農研機構生研支援